



余語奏美 文学部哲学科4年次、出岡宏ゼミ。2年次に春期留学プログラム(英語)参加。3年次にR.P。  
 榎間翔太 経済学部国際経済学科4年次、狐崎知子ゼミ。2年次にR.P。1年間スペインに留学。  
 鍋本帆乃香 文学部日本文学化学科4年次、板坂則子ゼミ。1年次にR.P。2年次に韓国に中期留学。  
 坂田悠 経済学部国際経済学科3年次、飯沼健子ゼミ。2年次にR.P。1年間休学しカナダ留学。  
 キム・デホン 人間科学部心理学科3年次、村松励ゼミ。韓国の大学を卒業後、本学に入学。(写真右から、敬称略)

「国際交流って難しい」「なかなかチャンスがない」そう考えていませんか。専修大学にはさまざまな国から長期・短期の留学生を受け入れているので、キャンパスにいながら、国際交流をする機会があります。その一端を紹介します。

# 魅力あふれる国際交流

## RAらが留学生をサポート

国際交流会館はグローバル人材を育成する教育寮として2014年に開館した。国際交流協定校からの交換留学生(1年間)や日本語・日本文化を学ぶプログラムに参加する世界各国からの短期留学生が生活する。専大生もレジデント・アシスタント(RA)やレジデント・パートナー(RP)として入室し、語学力の向上や異文化理解に努めている。今年度のRAに国際交流会館での生活や異文化交流の醍醐味を語ってもらった。

— RAとはどんな役割でしょうか  
 榎間翔太 寮生が一番近くについて一番頼れる存在です。ルールの厳守を徹底するのも務めです。  
 キム・デホン 寮生と身近に接して悩みを聞くのも大事な仕事です。  
 鍋本帆乃香 留学生やRPが入寮する時に寮内を案内したり、日本語学習の手伝い、学外施設の見学などでは引率したりします。

— RAが目を配ります。夕食後はみんなと一緒に2階のダイニングにいます。  
 坂田悠 留学生や寮生の誕生日にはみんなでお祝いもします。

— なぜRAになろうと思ったのですか  
 榎間 朝は授業に向かう留学生を見送っていました。夜は寮生と過ごすことができて充実した生活を送ることができて良かったです。カナダ留学後、世話になった先輩RAのことを思い出して、私もなりたいと思いました。

— RAの生活はどんな感じですか  
 榎間 RPの時に、全く日本語を話せないルームメイトに日本語を教えるのが面白かったです。彼らと一緒に生活するのは、とても楽しいです。

— RAの生活はどんな感じですか  
 坂田 寮内留学プログラムに参加して、充実した生活を送ることができて、とても楽しいです。

— RAの生活はどんな感じですか  
 余語 寮生活は、とても充実しています。寮生活を通じて、日本語の勉強だけでなく、異文化理解やコミュニケーション能力も身につけられました。



にぎやかな国際交流会館での生活。④キッチンで調理⑤ダイニングでの食事風景

## 短期留学生 日本を学ぶ

専修大学の年間の正規短期留学生は今年度584人。短期留学では、言葉や文化を理解するための「日本語日本事情プログラム」を設けている。秋コースは9月から12月まで12週間にわたり開催され、計12の国と地域から33人が参加した。

寮は日本人学生と留学生の2人1組の相部屋。自炊で、夕食時になるとダイニングではさまざまな言葉が飛び交い、各国の名物料理が披露される。

た。日本語の授業のほか、オフの時間はRAやRP、CAとともに都内散策や文化見学などに出かけ、日本を満喫した。

◆プレゼンテーション  
 ◆日本での学びを締めくくるとは、日本語プレゼンテーション。12月10日、生田キャンパスで行われ、留学生33人が日本語での生活について発表しました。

◆修了式  
 修了式は12月14日、生田キャンパスの国際交流会館で行われた。着物を着用した留学生に高橋裕国際交流センター長から修了証が手渡された。高橋センター長は「このプログラムをき

いたが、チームワークに救われています。国際交流会館はどんな場所ですか  
 坂田 家みたいな感じ。帰ってきていろいろな言葉で「晩ご飯何食べるの」と会話する間柄はまさに家族です。

余語 同じ寮に住んでいる者同士、言葉のやり取りがなくても気持ちが通じることがあります。鍋本 自分のことは後回しという生活で、就職活動や卒業論文に取り組みのは大変でしたが、得たものはたくさんありました。



調査の目的  
 イベントを企画と運営するスポーツ部が発表しました。

かけに日本に限らず、他国の言語や文化に触れ、自身の世界を広げていくという「刺激」というモチベーションが、ウクライナ出身のセリナ・イリナさんは「ナイスな経験です」と笑顔を見せた。

余語 ここでの出会いが留学のきっかけになるかもしれません。  
 レジデント・アシスタント(RA) 国際交流会館に住み込み、スタッフの一員として留学生をサポートする。  
 (RP) 寮内留学プログラムの参加者。国際交流会館で留学生と約半年間、協働生活を送る。  
 キャンパスアシスタント(CA) 留学生の日本語学習を手伝うほか、交流イベントに参加できる。登録制で在学中有効。2018年度は約870人が登録。

## 異文化体験の契機

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 余語 CAに登録すれば国際交流会館のダイニングエリアに入れるので、留学生と話してみたい人にはお勧めです。  
 坂田 好奇心を大事にしてほしいですね。  
 キム 異文化体験のきっかけとなるCA制度を活用し、そこからRPまで続けて経験するのがよいと思います。

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 榎間 ささまざまな考え方や生活習慣に触れることで文化の違いは、どういふことか実感できるのだから、何回も足を運んで留学生と気軽に話せる関係を作りたいです。

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 坂田 RAがちゃんとフォローするので遠慮せず訪ねてください。

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 余語 同じ寮に住んでいる者同士、言葉のやり取りがなくても気持ちが通じることがあります。

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 坂田 寮生活は、とても充実しています。寮生活を通じて、日本語の勉強だけでなく、異文化理解やコミュニケーション能力も身につけられました。

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 榎間 RPの時に、全く日本語を話せないルームメイトに日本語を教えるのが面白かったです。彼らと一緒に生活するのは、とても楽しいです。

— 留学や留学生との交流に関心がある学生にメッセージを  
 坂田 寮内留学プログラムに参加して、充実した生活を送ることができて、とても楽しいです。



ウーロンゴン大生 川崎市市長を訪問  
 1月23日、国際交流協定校のウーロンゴン大学から、高橋裕国際交流センター長とともに福田紀彦川崎市市長を訪問した。

## 19年度長期交換留学生に4人

2019年度長期交換留学生及び交換留学奨学生(第1期)に4人が決まった。1月15日、生田キャンパスで留学許可書交付式が行われ、高橋裕国際交流センター長から留学許可書が手渡された。



高橋国際交流センター長(左端)と長期交換留学生  
 20年1月  
 △小国由起子(経済2)  
 △岩田楓画(法3)  
 △リヨン政治学院(フランス)1月〜20年1月  
 △フィリップ・ニ・キアラ麗(法2)ほか1人